



< テレビ放送のあゆみ >

- ☆ 水平走査画像伝送装置の考案
1843年(明治以前)、イギリスのアレクサンダー・ペインが現在のファクシミリの原型ともいえる振子式水平走査画像伝送装置を考案しました。
- ☆ 円盤によるテレビジョンを考案
1884年(明治17年)、ドイツのニポーが小さな穴をいくつも開けた円盤を回転させ画像を幾本もの線に分解して電気信号を得るといふニポー円盤によるテレビジョンを考案しました。
- ☆ ブラウン管の発明
1897年(明治30年)ドイツのブラウンがブラウン管を発明しました。
- ☆ テレビ実験の公開
1926年(大正15年)、イギリスのペアードがロンドンの王立学会で世界で初めてのテレビ実験に成功しました。アメリカでは、RCA等の多くの企業が多数の研究員をつぎ込んでテレビの研究をとり進めました。
- ☆ 高柳健次郎が「イ」の字の撮像・受像に成功
1927年(昭和2年)、浜松高工教諭の高柳健次郎はニポーの円盤とブラウン管を使用して円盤に40個の穴をあけ「イ」の字を縦の走査線40本に分割し、ブラウン管の管面に「イ」の字を再現することに成功しました。
- ☆ 世界最初のテレビ定期放送を開始
1935年(昭和10年)3月、ドイツが世界最初のテレビの定期放送を走査線180本で開始し、11月にはフランスもエッフェル塔から定時テレビ放送を開始しました。
- ☆ オリンピック大会のテレビ実況放送を実施
1936年(昭和11年)8月、第11回オリンピック・ベルリン大会をテレビで実況放送しました。
ドイツではその翌年、走査線数を441本とし、フランスでは1938年455本としました。

- ☆ イギリスではジョージ6世の戴冠式をテレビ中継
数種の走査線数での実験の末、1937年(昭和12年)405本に統一し、BBCはこの年のジョージ6世の戴冠式をテレビ中継しました。

- ☆ アメリカでのテレビ放送の開始
アメリカでは1936年(昭和11年)、標準方式として走査線数343本を決定しましたが、直ぐに441本に変更し、その後、1941年(昭和16年)に525本に再度改定しました。そして、7月から正式放送が始まりました。
- ☆ 日本でのテレビ放送の実験スタート
1938年(昭和13年)、暫定方式として走査線数441本、毎秒25枚と決定し、1939年(昭和14年)5月からNHK技術研究所から45MHzで実験電波を発射しました。1941(昭和16年)年からは週1回の定期放送を開始しましたが、第2次世界大戦のため中止となりました。
- ☆ テレビ放送の研究の解禁
戦後はGHQによってテレビやレーダーの研究は禁止になりましたが、1946年(昭和21年)6月、テレビの研究は解禁となりました。
- ☆ 新撮像管と受信管の発明
1946年(昭和21年)アメリカRCAが撮像管イメージオルシコンならびにメタルバック受像管を発明しました。
- ☆ 日本、テレビの走査線数を525本に変更
NHKが研究を進めてきた走査線数441本、毎秒25枚のテレビ方式は、1948年(昭和23年)525本25枚に変更になりました。
- ☆ 欧米等の標準方式の変更
1948年(昭和23年)、フランスは走査線数819本を標準方式に変更し、ソビエトも走査線数625本に変更しました。
- ☆ NHK定期実験放送を開始
1950年(昭和25年)2月、世田谷砦のNHK技術研究所から定期実験放送が開始されました。(走査線数525本毎秒画像数25枚)
- ☆ 新撮像管と受信管の発明
1950年(昭和25年)、アメリカRCAがシャドウマスク式カラー受像管ならびに光導電形撮像管ビジコンを発表しました。
- ☆ カラーテレビの放送開始
1951年(昭和26年)、アメリカのCBSが撮像・受像管の前面で赤緑青のフィルタ付き円板を回転させるCBS方式カラーテレビの放送を開始しました。しかし、朝鮮戦争により放送中止となりました。

- ☆ 白黒テレビ方式標準方式の決定
1952年(昭和27年)2月、「白黒テレビ方式に関する送信の標準方式」を制定、走査線数525本 毎秒画像数30枚 周波数帯域6MHz
- ☆ 東京テレビ実験局が放送会館に移設
1952年(昭和27年)10月、世田谷砦のNHK技術研究所から実験放送を行っていた東京テレビ実験局が放送会館に移設。このとき走査線数525本毎秒画像数30枚の標準方式になりました。
- ☆ 東京、名古屋、大阪間 NHK自営マイクロ回線完成
1953年(昭和28年)1月、東京、名古屋、大阪間 を結ぶNHK自営マイクロ回線が完成し、2月より日本初の1日4時間のテレビ放送を開始しました。
- ☆ 日本最初の民間放送テレビ開始
1953年(昭和28年)8月、日本で最初の民間放送テレビ、NTVが放送を開始しました。
- ☆ アメリカでカラーテレビ放送開始!
1954年(昭和29年)、アメリカNBCとCBSがNTSC方式のカラーテレビ放送を開始しました。
- ☆ テレビの全国展開とマイクロ回線の電電公社独占化
1954年(昭和29年)、NHKは自営マイクロ回線を使用して名古屋、大阪地区のテレビ放送を開始しました。その後、国は電電公社のマイクロ回線の完成を待って、民間(NHK)のマイクロ回線は認められなくなり、電電公社の回線に変更されました。
- ☆ 日本においてカラーテレビの実験放送開始
1957年(昭和32年)12月、NHKとNTVが最初のカラーテレビの実験放送を開始しました。
- ☆ 東京タワーが完成
1958年(昭和33年)12月、東京タワーが完成し、NHK、民間放送テレビは順次東京タワーに移転しました。
- ☆ 皇太子ご結婚式のテレビ中継
1959年(昭和34年)4月、皇太子ご結婚式のとりおこなわれた賢所や馬車列のテレビ中継が行われ、沿道を走る車もまばらになり、カラーテレビ受像機のメーカーの在庫は底をつきました。
- ☆ わが国のカラーテレビ本放送を開始
1960年(昭和35年)9月、NHK7局、民間放送4局にて、初のカラーテレビ放送を開始しました。

- ☆ 東京オリンピックの衛星中継の実施
1964年(昭和39年)第18回オリンピック東京大会を通信衛星シンコム3号を使用して世界にテレビ中継を行いました。
- ☆ ヨーロッパの統一カラーテレビ方式の放送を開始
1967年(昭和42年)イギリス、オランダ、ドイツ、香港がPAL方式、フランス、ソ連がSECAM方式でカラー放送を開始しました。